

東京都建築物環境計画書の評価項目（非住宅用途）

Table I: 建築物の熱負荷の低減. 建築物の形状・配置 外壁・屋根の断熱 窓部の熱負荷の低減 [01] ※1. II 再生可能エネルギーの利用. III 省エネルギーシステム. 空気調和の二次側設備 [05] ※1.

Table II: 省エネルギーシステム. 空気調和の二次側設備 [05] ※1. 機械換気設備 [06] ※2. 照明設備 [07] ※2. 給湯設備 [08] ※1. 昇降機設備 [09] ※2. エネルギー利用効率化設備 [11] ※2. IV 地域における省エネルギー. V 効果的な運用のしくみ. VI エコマテリアル. VII オゾン層保護、地球温暖化抑制. VIII 長寿命化等.

Table III: 効果的な運用のしくみ. 最適運用のための運転調整、性能把握 [15] ※2 ※3. VI エコマテリアル. VII オゾン層保護、地球温暖化抑制. VIII 長寿命化等. 維持管理、更新、改修、用途変更等の自由度確保 [22] ※1.

Table IV: 長寿命化等. 躯体の劣化対策 [23] ※1. 短寿命建築物の建設資材の再利用対策等 [24] ※2. IX 水循環. X 緑化. XI ヒートアイランド現象の緩和.

・大項目[01]～[34]の末尾の添え字について。※1:住宅用途での記載項目と異なる大項目、※2:住宅用途で評価項目として存在しない大項目、※3:延床面積5,000㎡以下に限り任意評価項目、※4:延床面積に関わらず任意評価項目であることをそれぞれ示す。

# 東京都建築物環境計画書の評価項目（住宅用途）

エネルギーの使用の合理化	<b>I 建築物の熱負荷の低減</b>
	<b>建築物の形状・配置 外壁・屋根の断熱 窓部の熱負荷の低減【01】</b> ※1
	① 外壁及び屋根の断熱に係る事項(断熱材の種類) (1) 外壁の断熱仕様(断熱材、厚さ、熱抵抗値) (2) 屋根の断熱仕様( " )
	② 窓部の日射遮蔽及び断熱(庇、ブラインド等)
	③ その他(品確法の断熱等性能等級)
	(3) 床(外気に接する部分)の断熱仕様(断熱材、厚さ、熱抵抗値)
	(4) 床(その他の部分)の断熱仕様(断熱材、厚さ、熱抵抗値)
	(5) 土間床等の外周部(外気に接する部分)の断熱仕様
	(6) 土間床等の外周部(その他の部分)の断熱仕様
	(7) 開口部の建具の断熱仕様(形態、材質、構造、ガラス種類)
	(8) 外皮平均熱貫流率
	(9) 冷房期の平均日射取得率
	(10) 各部位の熱貫流率(外壁、屋根、床、土間床等の外周部)
	(11) 開口部の熱貫流率
	(12) 窓の夏期日射侵入率
	<b>II 再生可能エネルギーの利用</b>
	<b>再生可能エネルギーの直接利用【02】</b>
	① 太陽エネルギーを利用したシステム
	② 風を利用したシステム
	③ その他の事項(パッシブソーラーシステム、地中熱)
	<b>再生可能エネルギーの変換利用【03】</b>
	① 太陽光発電設備 太陽光発電容量、設置面積
	② 太陽熱利用システム 太陽熱利用容量、設置面積
	③ 地中熱利用システム 地中熱による容量
	④ バイオマス熱利用 (1) バイオマス熱利用による発電容量 (2) バイオマス熱の熱利用容量
	⑥ 年間再生可能エネルギー利用量
	<b>III 省エネルギーシステム</b>
	<b>設備システムの省エネルギー【04】</b> ※1
	① 給湯システムの利用の有無(有の場合機器仕様を選択)
	② 床暖房システムの利用の有無(有の場合機器仕様を選択)
③ 空調システム(ビルトイン)の利用の有無(有の場合機器仕様を選択)	
④ 暖房機能付給湯システムの利用の有無(有の場合機器仕様を選択)	
<b>IV エコマテリアル</b>	
<b>再生骨材等利用【05】</b>	
① 再生骨材等を利用したコンクリート等使用の有無	
② ①の種類	
③ ①の利用部位	
<b>混合セメント等利用【06】</b>	
① 混合セメント等の利用の有無	
② ①の種類	
③ ①の利用部位	
<b>リサイクル鋼材利用【07】</b>	
① リサイクル鋼材の利用の有無	
② ①の構造用材料への利用の程度	
③ ①の利用部位	
<b>エコマテリアル利用【08】</b> ※2	

資源の適正利用	<b>V オゾン層保護、地球温暖化抑制</b>
	<b>断熱材用発泡剤【09】</b>
	① 主として使用する断熱材の種類
	② ①の利用部位
	③ ①のうち、発泡剤を利用する断熱材の有無
	④ 発泡剤の種類 (1) オゾン層破壊係数 (2) 地球温暖化係数
	<b>空気調和設備用冷媒【10】</b> ※1 ※2
	① 採用した空気調和設備の冷媒の種類
	<b>VI 長寿命化等</b>
	<b>維持管理、更新、改修、用途変更等の自由度確保【11】</b> ※1
	① 維持管理の容易性に係る事項 専用配管の維持管理(躯体への影響に対する配慮等) 専有部分の排水管の維持管理に係る事項【自由記述】 共用配管の維持管理(躯体への影響、作業の容易性の確保への配慮)
	② 更新、改修、用途の変更等への対応に係る事項 階高 梁下の高さ、壁及び柱の位置
	<b>躯体の劣化対策【12】</b> ※1
	① 水セメント比
	② 劣化対策に係る事項
	③ 躯体の保護に係る事項
	④ 鉄骨の鋼材の厚さ
	⑤ 鉄骨の防錆措置(最下階の柱脚部、一般部)
	<b>VII 水循環</b>
	<b>雑用水利用【13】</b> ※2
	① 雑用水の利用の有無
	② 雑用水の利用方式 ・処理方式、計画水量(個別循環方式、地区循環方式、雨水利用方式の場合) ・貯留槽容量、集水面積(雨水利用の場合)
	③ 広域循環方式による再生水供給区域内か否か
	④ 雑用水の原水種別
	⑤ 利用先
	<b>雨水浸透【14】</b> ※2
	① 敷地の状況(地形、地質、地下水位)
	② 雨水浸透の方法 ・雨水浸透量、雨水浸透の能力
	<b>VIII 緑化</b>
	<b>緑の量の確保【15】</b>
① 地上部の樹木の植栽における主な樹種等 (1) 地上部の樹木の植栽等の面積	
② 建築物上の樹木、芝、草花等の種類 (2) 建築物上の樹木、芝、草花等の面積	
(5) 総緑化面積の敷地面積に対する割合(敷地緑化率)	
<b>緑の質の確保【16】</b>	
① 建築物上における主な樹種等 (1) 建築物上の樹木の植栽面積 (3) (1)の面積÷建築物上の緑化面積(%)	
② 高木の樹種等 (1) 高木の植栽面積 (3) (1)の面積÷総緑化面積(%) (4) 5mを超える高木の植栽の有無	
③ 既存の樹木の保全(主な樹種等) (1) 既存樹木の植栽面積 ・幹回り1m以上の大径木の有無	

適資源の用	<b>VIII 緑化</b>
	<b>動植物の生息・生育環境への配慮【17】</b> ※2
	<b>連続した緑の形成【18】</b> ※2
	<b>樹木・芝・草花等の維持管理への配慮【19】</b> ※2
	<b>IX ヒートアイランド現象の緩和</b>
	<b>敷地と建築物の被覆対策【20】</b>
	地上部の被覆材に係る事項 (1) 緑地による対策評価面積 (2) 水面による対策評価面積 (3) 保水性被覆材による対策評価面積 (4) 高反射率被覆材による対策評価面積
	建築物上の被覆材に係る事項 総対策評価面積の敷地面積に対する割合(%)
	<b>風環境への配慮【21】</b> ※2
	望ましい風環境確保のための建築物の形状、配置 (1) 見付幅 (2) 夏の主風向に直交する最大敷地幅 (4) 夏の主風向に直交する最大空地幅 (5) 最大高さ

・大項目【01】～【21】の末尾の添え字について。  
※1: 非住宅用途での記載項目と異なる項目  
※2: 延床面積に関わらず、任意評価の項目